

取り組みの報告

第 25 回地球環境市民講座「脱炭素社会ってどんな社会？～パリ協定の2℃未満を考える～」

第 1 回「パリ協定」ってなに？

地球環境市民会議(CASA)と自然エネルギー市民の会、全大阪消費者団体連絡会は「脱炭素社会ってどんな社会～パリ協定の2℃未満を考える～」をテーマに、共催して地球環境市民講座を開催しています。

第1回講座は「パリ協定ってなに？」をテーマに6月17日(土)に開催されました。はじめに早川CASA専務理事より「京都議定書からパリ協定まで」、続いて、国立環境研究所の江守正多さんより「パリ協定の2℃未満が意味すること」、さらに大阪大学大学院博士後期課程/ツバル・オーバビュー理事の河尻京子さんより「小島しょ国とパリ協定」についての講演がありました。



会場のようす

第2回は「EU・トランプ政権そして日本」をテーマに7月8日(土)に開催されました。環境省の名倉良雄さんより「日本の温暖化対策」、京都大学大学院特任教授の安田陽さんより「欧州の再生可能エネルギーと電力システム」、元朝日新聞編集委員の竹内敬二さんより「トランプ政権と温暖化政策」についての講演がありました。

第3回は7月22日(土)に大阪ガスの「ガス科学館」を見学しました。第4回は7月29日(土)に企業の温暖化防止の取り組みとして京都大学大学院教授の諸富徹さんの講演、またトヨタ自動車と積水ハウスの取り組みについての報告があります。

詳細CASAホームページから <http://www.bnet.jp/casa/2/51.html>

NPO 法人ねやがわ市民共同発電所第3号機

「こっこおひさま発電所」の点灯式

NPO 法人ねやがわ市民共同発電所が、こっこ保育園の屋根に9.6kWの太陽光発電所を設置し、6月20日(火)に園関係者や支援者を招いて点灯式が行われました。

この保育園は、1号機の候補となっていたのですが、耐荷重性の面で見送られていたそうです。今回、保育園改修の話があがり、併せて太陽光パネル設置へと話が進んだとのことでした。



泉大津汐見市民共同発電所の草刈り

汗いっぱい、充実感いっぱい

太陽光発電所の天敵「雑草」。今年も第1回目の草刈りを5月28日(日)に行いました。



実施前：元気です

2時間程度で、刈った草の袋詰めまで終了しました

草刈りも3年目となると上手になってきました。



実施後：充実感? 疲れ?